

犀川左岸流域下水道（汚泥共同処理施設）の平成18年度管理状況

施設所管課	H18:環境安全部水環境創造課（H19以降:環境部水環境創造課）
指定管理者	金沢市公営企業管理者 代表者 山本 文男
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

（1）管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	該当無し
利用の促進に関する業務	該当無し
使用の許可に関する業務	該当無し
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	施設の運転管理業務 ・ 下水道法、大気汚染防止法等関係法令及び業務計画書に基づき適正に行われている。 ・ 汚泥焼却実績及びばい煙測定結果等が適正に報告されており、基準値を満たしている。
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・ 金沢市地域防災計画及び金沢市企業局下水道浸水対策実施要領に基づき、災害時の対応・体制が整備されている。

（2）施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度 (参考)	H18年度	前年度比	増減理由
該当無し				

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当無し			

（3）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当無し			

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料		人件費	5,354
石川県負担	59,536	光熱水費	38,750
金沢市負担	202,869	修繕費	70,462
		運転監視等委託料	76,033
		排水処理費	29,774
		埋立処分費	16,874
		その他	25,158
合計	262,405	合計	262,405
収支差額	0		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)
利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応

事故、故障等

年月	内容	対応

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。		該当業務なし
利用促進に向けた取組みが行われているか。		該当業務なし
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・業務執行計画書に基づき適切な管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・金沢市地域防災計画及び金沢市企業局下水道浸水対策実施要領に基づき適切に行われている。

適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。
総合評価	B	・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、今後も専門的なノウハウを活かした管理を期待する。

評価基準

- A (優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B (良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C (可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D (不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A (優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良): 適正である
- C (可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D (不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし